

教育センターだより

学び続ける教員、協働する教員を教育センターは支援しています。

学校の廊下。2、3年前までは子供の真剣な取組みが生み出す静寂と空気、もしくは教科の専門家らしく子供を引き付けている教師の声がそこにはありました。最近ではそれに加えて、いろいろな**表情をもった声や音**があり、それにつられて思わず教室をのぞき込んでしまうほど、多様な学習活動が見られるようになりました。

教育センターでは、アクティブ・ラーニングとICT活用に関する調査研究を普及するため、協力学校に実践をお願いしています。そこでは、主体的・対話的で深い学びとするために、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業が展開され、参観者は、グループワークに取り組む子供の生き生きとした表情に充足感をもらっています。

「**教師主導から子供主体へ**」このキャッチフレーズが具現化された場で、教師はどこにいますでしょうか。子供の活動に教師の技がどのように作用しているのでしょうか。今、教師には文字通りの「教壇に立つ」だけでなく、学びを演出するという役割が求められており、教師の出番は効果的に、出過ぎることなく、高い教育観を伴った指導力が必要とされています。それは子供主体であるとともに教師主体でもあり、教師の在り方を問いなおさなければなりません。

さらに、教科横断的な考え方、施設や人材の活用、地域との連携など、教師のフィールドは教壇から社会へと広がってきており、それぞれの場面で、プロとしての教師がいることも求められています。

今の教育改革は**質の高さ**を求めることが中心です。子供の学びだけでなく教員の資質についても同様で、教育公務員特例法等の一部を改正する法律によって、県教育委員会は、関係大学等とて構成する協議会を組織し、文部科学大臣の策定する指針を参酌し、教員育成指標を定め、この指標を受けて教員研修計画を定めることとなります。教育センターでは、このような動きを踏まえて、これまでの研究・研修の内容、方法を見直し、これからの教員に求められる資質・能力を踏まえたものとしてまいります。また、子供、保護者、教員、学校の悩みを傾聴し、相談者に寄り添う教育相談活動も引き続き充実させます。

学び続ける教員のために、協働する教員のために、そして**学校のエンパワメント**となりますよう事業を推進してまいりますので、今後も御理解と御協力をお願いするとともに、積極的に教育センターを御活用くださいますようお願いいたします。

所長 藤井 浩史

香川県教育センターの調査研究をご活用ください。

平成29年度 調査研究事業

今年度、教育センターが取り組む研究テーマです。



調査研究1 アクティブ・ラーニングの視点から実現する学びの質の向上（1年次） ～学びのプロセスの工夫改善を通して～

国や県の教育課題を踏まえ、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）における指導方法等について研究し、香川県教育センター協力学校の実践事例を通して、その効果的な方策を提案します。

調査研究2 協働的な学習におけるICTの活用に関する調査研究（2年次）

児童生徒同士による学び合い活動において、タブレットPCや電子黒板等のICTを活用した学習方法について研究するとともに、香川県教育センター協力学校の実践事例をもとに、その効果的な活用について提案します。

調査研究3 全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果を詳細に分析し、そこからうかがえる香川県の児童生徒や学校、教職員にとっての課題を提示するとともに、改善の方向性を提案します。

◆研究発表会◆

平成30年2月16日（金）



（平成28年度 研究発表会の様子）

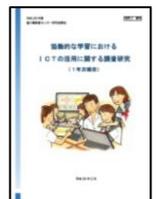
平成28年度 研究発表会

発表1 「全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析」

学習状況調査の結果を分析し、成果や課題を報告しました。なかでも、質問紙調査結果のアクティブ・ラーニングに関わる項目における香川県の現状を伝えることで、授業改善の方向性や学校組織運営の改善について、提案しました。

発表2 「協働的な学習におけるICTの活用に関する調査研究」

協働的な学習における問題発見・解決のプロセスと効果が期待できるICTの活用との関連を明らかにすることで、授業改善の視点が得られると考え、協力学校の授業において事前検討段階から訪問し、児童生徒の姿を通してICTの活用の効果を把握しました。協力学校の事例を冊子にまとめ、1年次の報告をしました。



講演 「これからの時代に求められる授業づくり」 －「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて－

東京大学 高大接続研究開発センター 教授 白水 始 姓

これからの時代に求められる授業づくりについて「主体的・対話的で深い学び」の実現とその学びが生きる評価の在り方から、具体的な事例を通じた演習を交え、分かりやすくお話しくださいました。また、調査研究（ICTの活用、アクティブ・ラーニング）の発表についても、触れていただきました。



発表3 「アクティブ・ラーニングによる授業の質的転換に関する調査研究」

本県の教育課題を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」における児童生徒の姿と、その姿を引き出す教師の手立てについて、香川県教育センター協力学校の実践事例等をもとに分析・整理するとともに、授業改善のチェックポイントを検討し、研究成果報告書にまとめました。参考となるリーフレット及び資料をWebサイトに掲載していますので、ご活用ください。



子ども・保護者支援に悩んだら、教育センターへご相談ください！

教育センターの相談窓口

教育センターでは、子どもや保護者、教職員からの学校教育、家庭教育に関する悩みの相談に応じています。以下の相談窓口をご活用ください。保護者にも、ぜひご紹介ください。

電話相談

子ども電話相談

087-813-3119 (子ども専用)
*相談時間 9:00~21:00(通年)

子育て電話相談

087-813-2040
*相談時間 9:00~21:00(通年)

24時間いじめ電話相談 (24時間子供SOSダイヤル)

087-813-1620
0120-0-78310
*相談時間 24時間(通年)

子どものネットトラブル相談

087-813-3850
*相談時間 月~金曜日(祝日・年末年始を除く)
9:00~17:00



来所相談

087-813-0945(予約受付)
*相談時間
月~金曜日(祝日・年末年始を除く)
9:00~17:00
第2、4土曜日(祝日・年末年始を除く)
13:00~17:00

メール相談 kesoudan@kagawa-edu.jp

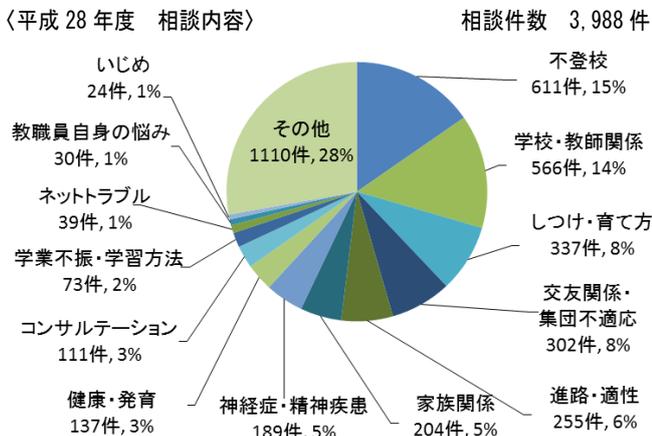
FAX相談 087-881-3272

コンサルテーション

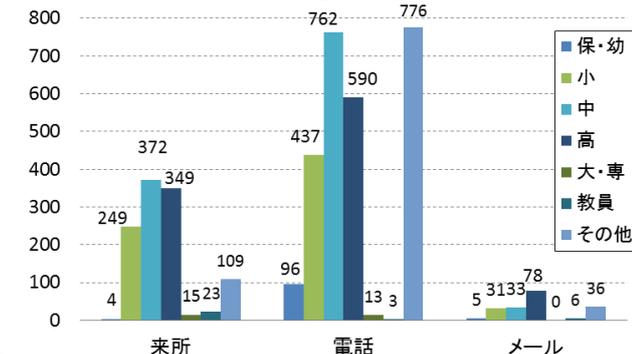
087-813-0945 (教育相談課)

平成28年度相談概況

〈平成28年度 相談内容〉



〈平成28年度 相談対象者の校種〉



1 教育センターへの相談は、3年連続増加

- 電話相談件数は2,677件。昨年度より約1割増加しました。来所相談件数は1,121件。新学期や連休明け等に相談が増えました。
- 相談内容のうち、「学校・教師関係」「交友関係」「神経症」「健康・発育」「ネットトラブル」についての相談は昨年度より増加しました。
- 相談対象者の校種は、中学校が最も多く、1,167件ありました。

2 ネットトラブルに関する悩み相談が増加

- 「LINE」等のSNS利用に伴う誹謗中傷の書き込み等に関する相談が多く、必要な助言を行うほか、内容に応じて専門機関を紹介しています。
- 保護者からは、子どものインターネット依存についての悩みが寄せられました。家庭内のルールを決めることをきっかけに、家族関係や家庭生活について見直し話し合う機会と捉えられるように相談を進めています。

3 教職員に対するコンサルテーションが111件

- 管理職や生徒指導主事等へ、保護者や子どもへの対応に関する助言を行いました。また、不登校児童への対応について、学校の事例検討会に参加し、現時点での交友関係や学習保障等の他に、今後の進路について協議しました。



今年度の教育センターの事業をご紹介します。

平成 29 年度 公開講演

関係研修の受講の有無にかかわらず聴講できます。
詳しくは『研修講座案内』又は Web サイトをご覧ください。

期 日	演 題	講 師 (敬称略)
5/16(火)	災 害 共 済 給 付 事 務	スポーツ振興センター 広島給付課
5/19(金)	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて-アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善-	國 學 院 大 學 教 授 田 村 学
6/ 6(火)	子どもたちのネット利用について	久里浜医療センター 心理療法士 北湯口 孝
7/21(金)	学校現場の法的リスク管理-訴訟事例から学ぶ法的責任の理論と対策-	金沢大学法科大学院 教授 (弁護士) 野坂 佳生
7/24(月)	社会と協働して進めるキャリア教育-社会が求める資質・能力-	清川メッキ工業株式会社 専務取締役 清川 卓二
7/25(火)	国語の授業づくり-主体的・対話的で深い学びを実現する国語科教育-	元 文 部 科 学 省 教 科 調 査 官 井 上 一 郎
7/25(火)	キ ャ リ ア 教 育 の 在 り 方	国立教育政策研究所 総括研究官 長田 徹
8/ 1(火)	生徒指導-いじめの問題から子どもの今を考える-	大津市教育委員会 教育長 桶谷 守
8/ 1(火)	発達障害のある子どもへの支援について-社会性を育む支援の在り方-	鳴門教育大学大学院 教授 井上とも子
8/ 3(木)	学 校 組 織 マ ネ ジ メ ン ト	国 士 館 大 学 教 授 北 神 正 行
8/ 4(金)	気になる子どもの気付きと支援の在り方-困り感に対応したかわりとは-	さぬき市発達障害早期支援コーディネーター 三谷 清子
8/22(火)	“教師の4ちから”を高めて信頼される教師を目指そう	文 教 大 学 教 授 会 沢 信 彦
9/ 5(火)	園 評 価	香川県教育委員会事務局義務教育課幼児教育スーパーバイザー 永田 洋子
11/16(木)	特 別 支 援 教 育 (発 達 障 害)	香 川 大 学 教 授 坂 井 聡
1/ 5(金)	食 育 推 進 の 現 状 と 課 題	(株)オフィス弁当の日 代表取締役 竹下 和男

カリキュラムセンター事業

◆ 研修サポート

指導主事を派遣し、各学校の研究テーマや課題に沿った指導や助言、研修支援を行います。
(平成 28 年度実績：541 件)

◆ 研究相談

教育実践上の諸問題等について、来所や電話、メール等により教職員からの相談に応じます。(平成 28 年度実績：437 件)

◆ 教育ライブラリー

[所蔵資料] (平成 28 年度末現在)

- ・教育図書 14,868 冊
- ・研究紀要・論文等 15,791 点
- ・教育雑誌 24 種類
- ・視聴覚資料
- ・各社の教科書 他

[閲覧・貸出等]

- ・開室時間 9:00~17:00 (月~金)
9:00~16:00 (土)
(ただし、土曜日は原則として 13:00~14:00 閉室)
- ・貸出冊数 1 回につき 5 冊まで
- ・貸出期間 15 日間

◆ Webサイト

学習指導案など、教育活動に役立つ資料を収集し、情報提供します。また、平成29年度から小学校外国語のページを開設します。

◆ 学校教育力向上支援事業(さぬき学びの支援隊)

退職教職員を小・中学校に派遣し、教職員の資質・能力の向上に向けた支援を行います。

平成 28 年度実績：

支援隊登録者数 220 人
派遣校数 115 校
派遣時間総数 9,489 時間

◆ 指導助言者の派遣

学校等に派遣し、研修活動等でのアドバイスを行う。

- ・スクールアドバイザー (栄養指導、保健指導、学校事務等)
- ・幼児教育スーパーバイザー

◆ 施設開放

県内の教職員団体やグループに対して、その自主的研修や調査研究の場として、研修室を無料で貸し出します。

- ・貸出時間 9:00~16:30 (月~土)
- (平成 28 年度実績：116 団体 4,893 人)

◆ インターネットによる学校支援

インターネットで各学校と教育センターとを結ぶ香川県情報教育支援サービスを通じ、様々な教育情報や各種サービスを提供します。